



富山大学 (富山県)



一人ひとりにあったカリキュラム，日本人とともに学ぶ専門科目。

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

本学は、2005年10月に富山大学（1949年設立）、富山医科薬科大学（1975年設立）及び高岡短期大学（1983年設立）の3大学が統合した、幅広く豊かな教育・研究施設を有する国立の総合大学である。2021年5月現在、学生数9,039人（学部生及び大学院生）である。また、学術交流協定を32か国・地域（アメリカ合衆国、イギリス、エジプト・アラブ共和国、オーストラリア、タイ王国、大韓民国、中華人民共和国、マレーシア、ロシア連邦など）142機関と結び、積極的に留学生を迎え入れており、国際機構を中心に受入れ体制の整備も進んでいる。

学部：人文学部，教育学部*，経済学部，理学部，医学部，薬学部，工学部，芸術文化学部，都市デザイン学部
大学院：人文社会芸術総合研究科*，持続可能社会創生学環*，理工学研究科*，医薬理工学環*，統合医薬学研究科*，教職実践開発研究科，生命融合科学教育部，医学薬学教育部，理工学教育部（*2022年4月改組予定）

② 国際交流の実績

大学間交流協定校：17か国・地域40機関
(2021年5月現在)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2021年：留学生数297人，日研生5人
2020年：留学生数313人，日研生7人
2019年：留学生数314人，日研生4人

④ 地域の特徴

富山県は、3000m級の北アルプス連峰を望み、日本海に面する自然に恵まれたところである。地理的には日本のほぼ中央に位置し、四季の移り変わりがはっきりしており、冬の雪景色も美しい。世界遺産「五箇山」の集落、全国的に有名な民謡「越中おわら節」など興味深い文化を育む場所でもある。

富山大学のある富山市は県庁所在地であり、人口約41万人をかかえる近代的な都市である。北陸新幹線により、東京へは約2時間で移動が可能である。また、市内には富山空港（東京まで約1時間）がある。水と空気と海産物がおいしく、文化的施設の整っている便利などとして、全国的に住みやすい街の最上位にあげられている。



富山大学
(五福キャンパス)

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

- 主に日本事情・日本文化に関する研修
日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行う。
- 主に日本語能力の向上のための研修
日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行う。

② 研修・コースの特色

留学生を対象とした日本語・日本文化に関する授業科目と、人文学部，教育学部，経済学部で開講されている幅広い日本語・日本文化に関する専門科目の中から、各自の興味とレベルにあわせて授業科目を履修する。それと同時に、指導教員（人文学部又は教育学部）からの個人指導を随時受ける。個人指導の中で各々に研究課題を定め、修了レポートにまとめる。

③ 受入定員

8名（大使館推薦4名、大学推薦4名）
(人文学部4名，教育学部4名)
*各学部に所属する。

④ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講希望する者は、以下の要件を満たす者とする。
(学歴)
渡日及び帰国時点で外国（日本国以外）の大学の学部在学中、日本語・日本文化に関する分野を専攻している者
(日本語能力)
国際交流基金及び日本国際教育支援協会による日本語能力試験N3以上の日本語能力を有することが望ましい。

⑤ 達成目標

- 各自が立てたカリキュラムを履修し、研究計画を進め、日本語で修了レポート（①a）は必須、①b）は選択）を完成させる。
- 国際交流基金及び日本国際教育支援協会による日本語能力試験N1相当の日本語能力を身につける。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2022年10月1日 ～ 2023年8月31日

⑦ 奨学金支給期間

2022年10月 ～ 2023年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬：渡日

（2020年は10月11日～12月16日）

10月～8月：実地見学旅行

（日本の文化や歴史を学ぶ機会。
各学部主催）

日本人学生による支援交流活動

（個別学習支援・交流会・パーティーなど）

この他にも地域の協力を得て、ホームステイ／ホームビジットプログラム、スキーツアー、おわら踊り・民謡・ゆかた着付・茶道体験、新春パーティー、お花見、バーベキュー大会、ボウリング大会などが実施されており、地域の人々との交流の機会も提供されている。

8月下旬：帰国（2021年は8月30日～31日）

9月：修了証交付

⑨ コースの修了要件

- 1) 所定の時間数（秋期・春期各240時間以上、合計480時間以上）を履修しているか、修了レポートを提出しているか等を当該組織が判定の上、修了証を交付する。
- 2) 受講した科目で出席・試験などの基準を満たした者には、修得した科目及び時間数を記した履修証明書を発行する。
- 3) 指導教員（人文学部又は人間発達科学部）による個人指導の中で各々の留学生の研究課題を定め、その結果を日本語で修了レポートにまとめ提出させる。
ただし、①b)の学生は免除されることがある。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

各自の関心とレベルにより立てた個別カリキュラムをもとに履修し、研究計画を進め、日本語で修了レポートを完成させる。
授業で使用する言語は日本語である。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目（コマ数、時間数）・内容

本大学の日研生プログラムは、各々のレベルに沿ったカリキュラムを履修することになっているので、必須科目は設けていない。

II) 選択科目（コマ数、時間数）・内容

[a] 日本語・日本文化に関する授業科（2021年度現在）

最新の情報はホームページでご確認ください。

総合日本語コース（上級）			総合日本語コース（中級）		
科目名	授業時間数		科目名	授業時間数	
	秋	春		秋	春
読解C	60	30	文法・表現Ba	60	60
文法C	60	60	文法・表現Bb	60	—
作文C	30	—	文法・読解Ba	60	60
聴解C	30	30	文法・読解Bb	60	60
会話C	30	30	文法B	—	60
漢字C	30	30	作文B	—	30
表現技術C	—	30	聴解・会話B	30	30
日本文化C	30	30	漢字B	30	30

[b] 教養教育科目（外国人留学生用）

科目名	授業時間数	
	秋	春
日本語	60	60
日本事情	30	30
異文化理解	—	30

[c] 専門科目（正規学生用）

各学部で開講される幅広い専門科目より授業科目を選択する。以下に各学部の日本語・日本文化に関連する科目のある専門分野を紹介する。

<人文学部>

日本語・日本文化に関する分野：

人間学、言語学、日本語教育学、日本史、文化人類学、国際関係論、日本語学、日本文学など

(*詳しくは人文学部ウェブサイト参照)

<https://www.hmt.u-toyama.ac.jp/>

<教育学部>

日本語・日本文化に関する分野：

教育学、福祉、スポーツ、日本語学、日本文学、日本史、日本地理、芸術など

(*詳しくは教育学部ウェブサイト参照)

<http://www.edu.u-toyama.ac.jp/>

<その他>

日本語・日本文化に関連のある経済学部授業（経済学、経営学、経営法学）や教養教育科目も履修できる。

* 専門科目及び「日本語」「日本事情」「異文化理解」は、Webシラバス（授業案内）に掲載。

<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>

・ 総合日本語コース

<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/program/timetable.html>



日本人学生主催
「ウェルカムパーティ」



日本事情 「書道」



実地見学旅行

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加できる科目及びその具体的な内容

なし。(ただし、見学、地域交流等は前述の⑧「研修・年間スケジュール」で体験することができる。)

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

日本語・日本文化に関する、より専門性の高い学部の専門科目を日本人の学生と一緒に受ける。

⑩ 指導体制

留学生の志望する専攻分野の指導教員と、学部の留学生担当教員及び国際機構教員が協力して、学業及び生活面の個別指導を行う。

■ 宿 舎

大学には、国際交流会館がありますが、部屋数に限りがあります。国際交流会館に入居できない場合は、大学が宿舎を紹介します。(大学の周辺にはアパートがたくさんあります。)

・国際交流会館(五福)の概要

部屋数： 単身室 34室

設備品： 電磁調理器付キッチン、バス、
トイレ、エアコン、ベッド、机、
いす、冷蔵庫など

その他設備：居室でのインターネット接続が可能(有料)



五福国際交流会館

■ 修了生へのフォローアップ

- ・富山大学日研生修了後のキャリアパス(一例)
☆母国の大学で日本語を教える。
☆JETプログラム国際交流員として日本で働く。
☆富山大学大学院やその他日本の大学院に進学。
☆日本企業(母国・日本国内)で働く。

- ・修了後のネットワーク
☆Facebookによって近況を報告している。



大学から見た立山連峰

■ 問合せ先

<担当部署>

富山大学国際部留学支援課

住所：〒930-8555

富山県富山市五福3190

TEL： +81-76-445-6105 (直通)

FAX： +81-76-445-6039

Email： ryugaku@adm.u-toyama.ac.jp



<ウェブサイト>

富山大学ホームページ

<https://www.u-toyama.ac.jp/>

富山大学国際機構ホームページ

<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/>

富山大学国際機構日本語プログラム

<http://www.ier.u-toyama.ac.jp/program/course.html>